

「デジタルメンテナンス技術交流会（東京）」を開催しました

2020年11月30日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「デジタルメンテナンス技術交流会（東京）」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研では、鉄道設備のメンテナンスにデジタル技術を積極的に活用する研究開発課題である「デジタルメンテナンスによる省力化」に取り組んでいます。今回、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて重要性が増している設備メンテナンスの省力化・リモート化をメインテーマとして、2020年11月11日に有楽町朝日スクエア（東京都千代田区有楽町）で、「デジタルメンテナンス技術交流会（東京）」を、新型コロナウイルス感染症対策をとった上で開催いたしました。本技術交流会には、鉄道事業者を中心に35社95名の方がご来場されました。

【今回のポイント】

鉄道設備のメンテナンスの省力化・リモート化に資する鉄道総研の最近の研究開発成果について、構造物、軌道、電力、地震工学に関わる9件の成果展示を行いました。本技術交流会は、会場の各展示ブースに説明パネルやモニター、装置の実物や模型を展示し、鉄道総研の研究者が国立研究所からリモートで説明や質疑応答、装置の操作を行うリモート展示形式で開催しました。

1. 開催日時：2020年11月11日（水）10時から17時
2. 場 所：有楽町朝日スクエア11階（東京都千代田区有楽町）
3. 成果展示：
 - 3次元画像による目視検査支援システム
 - 画像情報を用いたトンネル全般検査支援技術
 - 低コスト軌道検測装置 Track²er（トラック・トラッカー）
 - ディープラーニングを用いた木まくらぎの劣化度判定システム
 - バラストの音の透過特性を用いた道床状態評価装置
 - 画像を活用した電車線非接触測定装置
 - 軌道保守管理データベースシステム LABOCS（ラボックス）とその将来展望
 - 画像解析エンジンを活用した列車巡視支援システム
 - 鉄道地震被害推定情報配信システム DISER と変位センサーによる地震後の早期運転再開支援
4. 問い合わせ先
上記の成果展示に関するご質問は下記 URL からお問い合わせください。
<https://www.rtri.or.jp/sales/inquiry.html>



会場内のリモート展示の様子（有楽町朝日スクエア）



リモートで研究者がプレゼンテーション・質疑応答を行っている様子（国立研究所）